



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月27日

上場会社名 昭和飛行機工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7404 URL <http://www.showa-aircraft.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田沼 千明
 問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務部長 (氏名) 木下 尚久 (TEL) 042-541-2111
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	16,656	△1.2	1,163	16.1	1,107	26.5	726	34.2
28年3月期第3四半期	16,857	△2.8	1,002	△34.4	875	△34.8	541	△39.0

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 279百万円(△75.9%) 28年3月期第3四半期 1,162百万円(△54.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	22.26	—
28年3月期第3四半期	16.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	63,828	32,691	51.2
28年3月期	63,990	32,673	51.1

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 32,691百万円 28年3月期 32,673百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
29年3月期	—	4.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,500	3.6	1,700	24.5	1,450	33.5	850	23.6	26.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	33,606,132株	28年3月期	33,606,132株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	991,036株	28年3月期	990,752株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	32,615,255株	28年3月期3Q	32,615,673株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は166億56百万円（前年同期比2億1百万円、1.2%減）となりましたが、営業利益は11億63百万円（前年同期比1億61百万円、16.1%増）、経常利益は11億7百万円（前年同期比2億32百万円、26.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億26百万円（前年同期比1億85百万円、34.2%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの事業区分の一部変更をしております。当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更の影響を含めております。

① 輸送用機器関連事業

タンクローリーなどの特殊車両関係の一部出荷時期が第4四半期にずれ込んだことなどから、売上高は57億75百万円と前年同期比1億2百万円、1.7%の減収、セグメント損益は37百万円の損失（前年同期3億円の損失）となりました。

② 不動産賃貸事業

商業施設のテナントの入れ替えなどの影響から、売上高は51億2百万円と前年同期比46百万円、0.9%の減収となりましたが、営業費用の減少等によりセグメント利益は15億46百万円と前年同期比1億76百万円、12.9%の増益となりました。

③ ホテル・スポーツ・レジャー事業

天候不順によりスポーツ施設の利用が伸び悩み、売上高は33億35百万円と前年同期比33百万円、1.0%の減収となりました。セグメント損益は運営管理方式変更に伴う全社共通営業費用の配賦額の増加により2億10百万円の損失（前年同期1億10百万円の利益）となりました。

④ 物販事業

温浴設備の売上高が回復基調となったものの、大型自動二輪車の販売が低迷したことにより、売上高は21億16百万円と前年同期比5百万円、0.3%の減収、セグメント損益は42百万円の損失（前年同期57百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、売上債権の回収などによる現金及び預金の増加や売上が第4四半期にずれ込んだことによる仕掛品の増加等があり、前連結会計年度末に比べて12億82百万円、9.0%増加し、155億44百万円となりました。

固定資産は、株式市況の下落により投資有価証券が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べて14億43百万円、2.9%減少し、482億83百万円となりました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて1億61百万円、0.3%減少し、638億28百万円となりました。

(負債)

流動負債は、未払消費税等や賞与引当金の減少などにより、前連結会計年度末に比べて2億3百万円、2.5%減少し、79億96百万円となりました。

固定負債は、投資有価証券の時価下落に伴い繰延税金負債の減少があった一方、長期借入金や退職給付に係る負債の増加等があり、前連結会計年度末に比べて23百万円、0.1%増加し、231億39百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1億80百万円、0.6%減少し、311億36百万円となりました。

(純資産)

純資産は、投資有価証券の時価下落によるその他有価証券評価差額金の減少があった一方、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加があり、前連結会計年度末に比べて18百万円、0.1%増加し、326億91百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

輸送用機器関連事業の一部売上が第4四半期にずれ込んでおりますが、現段階では平成28年4月26日発表時の通期の業績予想につきましては、変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額はありません。

(2) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,777	5,614
関係会社預け金	1,640	1,921
受取手形及び売掛金	4,900	4,268
商品及び製品	614	672
仕掛品	818	1,518
原材料及び貯蔵品	862	928
繰延税金資産	168	123
その他	484	498
貸倒引当金	△5	△2
流動資産合計	14,262	15,544
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,769	24,826
機械装置及び運搬具（純額）	1,511	1,424
工具、器具及び備品（純額）	392	543
土地	12,264	12,264
その他（純額）	145	296
有形固定資産合計	40,084	39,355
無形固定資産		
その他	73	90
無形固定資産合計	73	90
投資その他の資産		
投資有価証券	8,691	8,177
繰延税金資産	52	54
その他	945	723
貸倒引当金	△119	△118
投資その他の資産合計	9,570	8,837
固定資産合計	49,727	48,283
資産合計	63,990	63,828

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,422	1,499
1年内返済予定の長期借入金	2,920	2,910
未払法人税等	264	190
未払消費税等	351	85
賞与引当金	343	146
工事損失引当金	29	67
その他の引当金	4	5
その他	2,862	3,091
流動負債合計	8,200	7,996
固定負債		
長期借入金	9,880	10,110
受入敷金保証金	4,560	4,543
繰延税金負債	2,010	1,804
退職給付に係る負債	5,809	5,910
役員退職慰労引当金	540	427
その他	314	344
固定負債合計	23,116	23,139
負債合計	31,316	31,136
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,949	4,949
資本剰余金	8,977	8,977
利益剰余金	14,689	15,154
自己株式	△377	△378
株主資本合計	28,239	28,704
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,395	4,030
為替換算調整勘定	38	△43
その他の包括利益累計額合計	4,433	3,987
純資産合計	32,673	32,691
負債純資産合計	63,990	63,828

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	16,857	16,656
売上原価	12,578	12,168
売上総利益	4,278	4,487
販売費及び一般管理費	3,276	3,324
営業利益	1,002	1,163
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	131	136
その他	45	59
営業外収益合計	178	197
営業外費用		
支払利息	117	106
遊休施設管理費	64	56
地域再開発費用	55	46
その他	68	45
営業外費用合計	306	254
経常利益	875	1,107
特別利益		
固定資産売却益	—	20
特別利益合計	—	20
特別損失		
固定資産除売却損	32	18
その他	0	—
特別損失合計	32	18
税金等調整前四半期純利益	842	1,109
法人税、住民税及び事業税	315	386
法人税等調整額	△13	△3
法人税等合計	301	383
四半期純利益	541	726
親会社株主に帰属する四半期純利益	541	726

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	541	726
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	621	△364
為替換算調整勘定	△0	△81
その他の包括利益合計	621	△446
四半期包括利益	1,162	279
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,162	279
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸送用機器 関連事業	不動産賃貸 事業	ホテル・ス ポーツ・レ ジャー事業	物販事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	5,878	5,149	3,369	2,121	16,518	339	16,857	—	16,857
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	203	102	11	5	322	172	495	△495	—
計	6,081	5,251	3,380	2,127	16,840	512	17,353	△495	16,857
セグメント利益 又は損失 (△)	△300	1,370	110	△57	1,122	△120	1,002	—	1,002

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、福祉介護事業及び野菜事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸送用機器 関連事業	不動産賃貸 事業	ホテル・ス ポーツ・レ ジャー事業	物販事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	5,775	5,102	3,335	2,116	16,330	326	16,656	—	16,656
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	130	108	5	0	245	154	400	△400	—
計	5,906	5,211	3,341	2,116	16,575	481	17,056	△400	16,656
セグメント利益 又は損失(△)	△37	1,546	△210	△42	1,255	△91	1,163	—	1,163

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、福祉介護事業及び野菜事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「ホテル・スポーツ・レジャー事業」の運営管理方法を変更したことにより、同事業の全社共通営業費用の配賦額が増加しております。

なお、当第3四半期連結累計期間における同事業のセグメント利益又は損失(△)に与える影響額は△260百万円であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、組織の意思決定と対応の迅速化を目的として組織変更を行っております。この変更に伴い、「輸送用機器関連事業」に含まれていた野菜事業について「その他」へ変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。